

豆大福先生に聞いてみようよ!

豆大福が大好きな通称“豆大福先生”が、安川電機の製品にまつわる疑問や業界のトレンドを分かりやすく解説します。



第1回 データ収集・活用事例

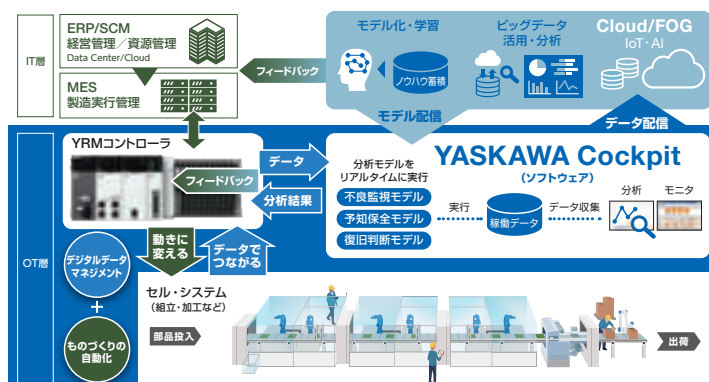
安川電機は、「i³-Mechatronics」を提唱し、デジタルデータソリューションの提供を進めています。その中核を担っているのが、工場のデータ収集・活用による生産性向上を実現するソフトウェアツール「YASKAWA Cockpit(以下、YCP)」です。安川電機はi³-Mechatronicsの実現に向け、生産現場の“intelligent(知能的)”で“innovative(革新的)”な状態を実現するため、まず“integrated(統合)”を3つ

のステップで実行します。ものづくり自動化のための「生産現場のコンポーネント・プロセス統合」、自動化された生産現場のデータ活用のため「生産現場がデータでつながる」状態の構築、そして必要に応じてデータを更に上位のシステムへ配信するための「FAとITとの連携」です。

YCPはこの“integrated(統合)”の中で、自動化された生産現場のデータを収集・蓄積し、上位システムと連携してAIによる学習やビッグデータ解析に現場のデータを活用できる状態にする役割を担っています。



データを収集して何をする? YASKAWA Cockpit の使用事例



- ① ロボットの減速機の故障時期を予知
- ② 生産ラインの異常判断
- ③ 寿命部品の“予知”保全に活用

安川電機では生産現場の様々なシーンで活躍できる機能の拡充を進め、皆さまそれぞれの生産現場に最適なYCPを皆さまと一緒に作り上げることで、データを活用したものづくりの進化をサポートします。



データを活用した進化を続ける、YCPの活用事例をチェック!

■ お問い合わせ先

営業本部 事業開拓部 事業開拓第2課
TEL : 03-5402-4507

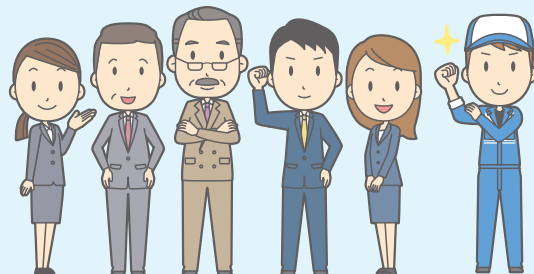
YASKAWA NEWSを、リニューアルしました!!



「YASKAWA NEWS」は、お客さまと安川電機を結ぶ広報誌として、2026年夏号から誌面をリニューアルしました。読者アンケートで寄せられたご意見をもとに、納入事例やAI・i³-Mechatronicsに関する情報を拡充するとともに、企業活動やカーボンニュートラルへの取り組み、新たな連載企画など、より親しみやすく読み応えのある内容へ刷新します。

さらに、誌面デザインを一新し、Webサイトや動画コンテンツとの連携も強化。冊子を起点に、より多くの情報と出会える広報誌を目指します。

これからの「YASKAWA NEWS」に是非ご期待ください。



日本産業広告賞で振り返る 安川電機

産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的として、日刊工業新聞社が主催で開催している「日本産業広告賞」。1966年に制定された、日本を代表する産業広告賞です。このコーナーでは、日本産業広告賞において、当社が受賞した作品を振り返るとともに、掲載された製品をご紹介します。記念すべき連載第1回の製品は、AIロボット「MOTOMAN NEXT」です。

連載 第1回 第60回 日本産業広告賞 (2025年) 情報誌部門 第一席

YASKAWA

まだ、人にしかできないと 思っていた領域へ

洗浄前の医療器具には、命を支える現場の緊張と責任が宿っています。形や状態の異なる器具が混在し、洗浄装置への投入と取出しを優先しながら、合間で仕分けを行う。状況は常に変化し、柔軟な判断が求められる。だからこそ、人の手に委ねられてきた仕事です。

自律ロボット「MOTOMAN NEXT」は、器具の種類や状態を見分け、仕分けから洗浄装置への投入・取出しまでを担います。人の負担を軽減し、感染リスクとヒューマンエラーを防ぐ。それは、医療現場に“もう一つの信頼できる手”を加えるということ。

人にしかできないと思われていた領域へ、私たちはAIとロボティクスで挑み続けます。

MOTOMAN NEXT

ロボティクスとの融合により、AIは「考える」だけでなく、「動く」「感じ」「適応する」存在へと進化を遂げています。MOTOMAN NEXTは、AIとロボット制御技術が融合した、革新的なソリューションを届けるオープンプラットフォームです。AIやセンサーと連携した自律制御ユニットにより、環境変化をリアルタイムで認識・判断。従来の人の判断や経験に頼っていた工程においても、安定した自動化が可能となり、生産性と柔軟性の両立を実現します。



詳しくは MOTOMAN NEXT 特設サイトへ



株式会社 安川電機

東京支社 東京都港区南青山1-16-1 ニューピア南青山ビル6F 〒106-6881 TEL (03) 5402-4502 製品技術情報サイト <http://www.e-mechatronics.com> オフィシャルサイト <https://www.yaskawa.co.jp>

審査員選評

テレビドラマでよく見る病院の手術器具を慎重に、丁寧に扱っている人物とロボットのビジュアル。「まだ、人にしかできないと思っていた領域(こと)へ」のヘッドライン。形や状態の異なる医療器具の洗浄は人に委ねられてきたとのこと。一方で人の負担を減らし、感染リスクとヒューマンエラーを防ぐという課題に対して、同社の「MOTOMANNEXT」が課題解決してくれると訴求した作品である。人とロボットの対比を見開きで見せることで、頭の中にすんなり入ってくる内容となっている。



AIロボット MOTOMAN NEXT

多品種少量生産、農林水産、サービス、医療・介護など、対象や環境が絶えず変化し、経験や感覚に基づく判断が求められる領域では、人が作業を担い続けてきました。

MOTOMAN NEXTは、このような変化する現場を自動化するために、周囲の状況を認識・判断し、動作を計画・実行する機能を標準搭載しています。さらにAIをリアルタイムに実行するためのGPUをロボットコントローラに内蔵することで、ロボット1台というシンプルな構成でフィジカルAIを実現しました。

また、オープンプラットフォームとなっており、最新のAI技術との連携が容易で、進化する技術を柔軟に活用でき、フィジカルAIの社会実装を加速させます。

人にしかできないと思っていた 作業をこなすAIロボットをチェック!



■ お問い合わせ先

ロボット事業部 事業企画部 販売推進課
TEL : 093-645-7715

陸上部 NEWS

新緑の風が心地よく吹き抜ける季節となり、春のトラックシーズンが開幕。本年度入社した菅野裕二郎選手が5000mの自己記録を2度も更新する会心の走りを見せました。

平島龍斗選手は持ち前のスピードを遺憾なく発揮し、5月31日に開催されたNITTAIDAI Challenge Gamesの5000mmで安川電機歴代5位の記録を叩き出しました。

吉中祐太選手は5月23日に開催された第69回九州実業団陸上競技選手権大会の1500mに出場し、安川電機歴代4位の記録で全体3位と躍進しました。同レースに出場した入社3年目の九嶋恵舜選手も、ラスト500mからのロングスパートで会場を沸かせ、自己記録を大きく更新する走りを披露しました。また、昨年度チームに加入したキブタム ヴィクター選手が5月4日に開催されたゴールデンゲームズinのべおかにて、自己記録を10秒以上更新するパフォーマンスを発揮しました。



ゴールデンゲームズinのべおかにて、自己記録を10秒以上更新するパフォーマンスを発揮したキブタム ヴィクター選手



本年度入社した菅野裕二郎選手は、早くも5000mの自己記録を2度も更新する会心の走りを見せている

6月12日～14日に開催された第110回日本陸上競技選手権大会には、和田稜選手、漆畑瑠人選手、吉中祐太選手の3名が5000mに出場しました。3名とも惜しくも決勝には進めなかったものの、自らの課題を再認識できたレースでした。

今後は夏の走り込みを行い、秋口のレースに備えます。引き続き選手の応援をよろしくお願いします。

※本記事は春季トラックレース終了時点(6月末時点)の競技結果をもとに作成しています。

NITTAIDAI Challenge Gamesの5000mで安川電機歴代5位の記録を叩き出した平島龍斗選手



全日本実業団対抗駅伝競走大会 (ニューイヤー駅伝) の統一予選会について

ニューイヤー駅伝はこれまで各地区の予選会を勝ち抜いたチームが本戦の出場権を獲得していましたが、大会改革の一環として2027年からシード制と全国統一予選会を導入することが決まりました。

全国統一予選会について

開催地：愛知県・田原市
開催日：2027年秋(詳細は未定)

従来の地区予選会を一本化し、全国の実業団チームが同じレースで出場権を争う方式です。2027年ニューイヤー駅伝から、上位チームにはシード権が与えられ、シード権外のチームが全国統一予選会に出場することになります。



詳しいスケジュールや大会結果を 陸上部公式サイトでチェック!

